

富山市定例市長記者会見（令和 3 年 5 月 6 日）

■冒頭

市長

皆さん、こんにちは。市長の藤井でございます。

今日はお忙しい中このようにお集まりいただき、ありがとうございます。

それでは、本日の定例記者会見の説明を始めさせていただきます。

■「エコ通勤」の推進について

市長

市では、SDGs の推進に向け、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを進めております。

さらに、環境政策のさらなる強化による持続可能なまちづくりの深化を図るため、今年 3 月に「ゼロカーボンシティ」を表明し、脱炭素化に向けた取組みを進めているところでございます。

こうした中、コンパクトなまちづくりを引き続き進め、脱炭素化に向けた取組みの強化を図るための全庁的な取組みとして、環境にやさしい交通手段での通勤、いわゆるエコ通勤を推進することといたしました。

そして、公共交通利用推進等マネジメント協議会がエコ通勤に取り組んでいる事業所を公的に認証する「エコ通勤優良事業所認証」を富山市役所が去る 4 月 30 日に取得しましたことを報告いたします。

エコ通勤とは、通勤の手段をマイカーから、より環境負荷の少ない電車やバスの公共交通、自転車、徒歩などへ転換する取組みであります。

なお、これまでに、県内では民間企業 3 社が認証を受けておりますが、現在、県内の自治体としては（本市が）唯一、「エコ通勤」認証を取得しています。

富山市役所のエコ通勤の促進に向けた取組みとしましては、①職員を対象とした月2回のノーマイカーデーの実施、②職員を対象としたエコ通勤に関する研修会の実施、③とほ活アプリの推奨による公共交通の利用促進、④市ホームページでの公共交通の情報提供等が挙げられます。

今後は、地元の企業に対しまして、エコ通勤への啓発活動（モビリティ・マネジメント）を行い、環境負荷の軽減、渋滞緩和や健康増進、事故リスクの軽減等、エコ通勤のメリットを周知し、さらなる公共交通の利用促進を目指してまいります。

また、この取組みに対し、公共交通を運行している富山地方鉄道様からご協力を頂けることとなりました。

「エコ通勤優良事業所」として認証された企業が、市内を走行する富山地方鉄道の路面電車及び路線バスの車両に車内広告を掲出していただくこと等について、詳細を調整しているところでございます。

ゼロカーボンシティの新たな取組みを官民連携にて進めてまいりたいと考えております。

■ 質疑応答

記者

市長就任から約2週間が経過しました。この2週間で振り返っての所感と、現時点で見えてきた政策的な課題などがございましたらお聞かせください。

市長

私の市長としての任期は4月24日からですが、その日が土曜日であったため、週明けの4月26日が私の初登庁の日となりました。

当日は、就任式に臨み、職員の皆さんへ初めての訓示を行い、また市長として初めての記者会見にも臨みました。

その後、関係各所への挨拶回りや、4月28日には富山県市長会議、4月30日には臨時議会があったほか、土日なども利用して、各部局から事務事業についての説明を受けるなど、大変緊張しながら、無我夢中で過ごしてきた2週間でありました。

また、現時点で見えてきた政策的な課題ということですが、今ほども申し上げましたが、現在、各部局から事務事業についての説明を受けているところでございます。

これから課題等の本質について、しっかりと把握してまいりたいと思っております。

森前市長から直接お聞きしたのですが、半年ぐらいかけてじっくりと庁内のことや課題の把握等に努めたということで、「まずは勉強なさい」ということで申し送りをいただいたわけであります。

ですから、しっかりと十分に職員からのヒアリングを行って、まずは勉強していきたいと思っております。

一方、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、ワクチン接種も含めてですが、スピード感をもって対応しなければならない事項であります。

市長としての判断を速やかに行い、医療現場の皆さんの協力もいただき、県との連絡も密に取りながら、しっかりとスピード感を持って前へ進めていきたいと思っております。

記者

来月から早速6月議会が始まります。市議会議員も選挙で入れ替わりがありました。これから市議会との関係性をどのように構築していくのか、改めてお聞かせください。

市長

先の就任記者会見でもお答えしましたが、先だっの選挙で、お互いに市民の代表として選ばれたわけであります。

議会と当局は二元代表制の関係でありますので、お互いの立場を尊重しながらも、緊張感を保って物事を進めていくことが必要だと感じています。

公正で公平な行政がしっかりと確保されていくということが大事だと考えております。

この制度の下で、今回、私と議員の皆さんはそれぞれ市民の負託を受けたものでありますが、富山市を良くしたい、市民の皆さんを幸せにしたいという思いは一緒でございます。

今後とも、互いに切磋琢磨し、車の両輪として、しっかりと市政を推進させてまいりたいと思います。

私もつい2箇月前までは、県議会議員として議会人の立場でありましたので、行政当局をチェックする、あるいは住民の負託に応じて要望を当局に伝え、実現していくという立場でしたので、議会の立ち位置は私なりによく理解しているつもりであります。

これからは、市政の運営を担う最高責任者として、議員の皆さんと協力しながら、市勢の発展と市民の皆さんの幸せのために邁進してまいりたいと思っております。

記者

保健所に視察に行かれた時にゴールデンウィーク明けにもコロナワクチンの接種スケジュールについて固めて発表できればとおっしゃっていましたが、どのような状況でしょうか。

市長

詳細は担当部局に確認していただければと思いますが、今後のスケジュールとして、まず接種券の発送についてですが、85歳以上の方、約26,000人については過日、4月26日までに発送済みということでございます。

75歳から84歳までの対象者が約45,000人いらっしゃいますが、これは5月10日を目途に発送するというところでございます。

また、65歳から74歳までの対象者が約59,000人いらっしゃいます。こちらは5月17日を目途に発送したいということです。

そして、一般高齢者の接種については、既にご案内のとおり、5月17日に接種開始でございます。

なお、ワクチンの供給につきましては、今のところ得ている情報では、6月の最終週までには高齢者の皆さんの2回分、245,000回分のワクチンが本市に供給される見込みと聞いております。

ご承知のとおり、菅総理大臣が過日（4月23日）の記者会見で発言され、（その後）4月30日付で、7月末までに高齢者接種を完了するように前倒しを要請されたわけです。

これに合わせて夜間、休日の接種委託料の増額あるいは今ほど申しました6月最終週までのワクチンの供給見込みについて、本市にも通知があったわけです。

この国からの要請を受けて、（本市では）市医師会に対して、接種体制の強化について協力要請をすることで、7月末までの接種完了を目指していきたいというところであります。

この先の最終的な詰めは、本市と市医師会で行うという段階となっております。

記者

ちなみに市長は（ワクチンを）いつ頃打たれるのですか。

市長

いろいろな方に聞かれるのですが、私が打つ年齢のところに来たら打ちたいと思います。ありがとうございます。

=====

記者

ワクチン接種について、85歳以上の方の接種券が配布され、今月30日に予約受付を開始しておられます。

その受付状況がどうなっているのかということと、富山市では個別接種を基本として集団接種を補完的に行うという方針になっていると思いますが、集団接種の予約が集中しているとか、後々、この方針を転換するような状況があるのかということをお聞かせください。

市長

まず予約件数についてですが、個別接種会場61カ所において9,406件の予約枠数があり、実際の予約数は5月5日現在で2,797件、したがって枠の残数は6,609件となっています。

また、集団接種は会場が3カ所ございますが、予約枠数の1,878件に対して、5月5日現在の予約数が504件、その残数は1,374件でございます。

ですから、合計の予約枠数11,284件に対して、予約数が3,301件、残数が7,983件となっております。

詳しいことは担当課にお聞きください。

記者

そうしますと、まだ予約枠数が大分残っているという認識でよろしいでしょうか。

市長

認識としては、予約数の3,301件に対して、7,983件の（予約枠の）残数がまだありますので、単純に倍以上ですね。

ですから、まだ残っているという認識はありますが、できるだけスムーズに予約してワクチンを接種していただきたいと思っています。

=====

記者

ワクチン接種の予約残数についてですが、これは予約が滞っているのを見ているのか、どういった見方をされているのか、お聞かせください。

市長

確かに予約受付を開始した時期は混雑もありましたし、既に皆さんご承知だと思いますが、今日の午前中にシステムにトラブルが発生し、午前 9 時から午前 11 時ぐらいまでの約 2 時間、インターネット等の受付に不具合が発生したと、先ほど報告を受けました。

大変申し訳ないと思っております。

他自治体の状況も合わせて報告を受けたところ、富山市だけでなく、そのシステムを使っている自治体は同じ状況だったということでした。

現在は復旧しているということで安心はしておりますが、運営会社には（今後）こうしたことがないように、しっかりと申し入れもしたいですし、そのようなことも含めて、しっかりと（予約を）受け付けられるように、スムーズに進むように取り組んでいきたいと考えております。

（現状の予約ペースが）遅いのか、早いのかと言われれば、皆さん、だいたい計画どおりに申し込まれて、それぞれのところで予約受付も順調に進んでいるとは感じております。

記者

トラブルについての確認ですが、ゴールデンウィークが明けてアクセスが集中したというようなことではなかったのでしょうか。

市長

インターネットですので 24 時間いつでも受け付けているのですが、ゴールデンウィーク期間中の 5 月 3 日、4 日、5 日の辺りは受付をしていないと思っていらっしゃった方が多かったようで、ゴールデンウィークが明けて、今日、平日になり、（アクセスが集中して）ビジーになったと聞いております。

記者

予約を開始した 4 月 30 日には、そうしたトラブルはなかったのでしょうか。

市長

電話の受付等では一部、混雑した状況があったと聞いておりますが、それも今はスムーズに流れ始めたということでございますので、特に（トラブルがあったということは）今のところ聞いておりません。

記者

例えば、何千件が予約できないままになっているといったような状況ではないということですね。

市長

それはないと思います。

順次、予約は進んでいるものと考えております。

=====

記者

話は変わりますが、ゴールデンウィークについて、以前に、夫人と「となみチューリップフェア」に行きたいというようなことを言っておられたかと思うのですが、実際にどのように過ごされたのか、お聞かせください。

市長

この（公式の）場でプライベートなことで申し訳ないのですが、実は昨日、家内と（となみチューリップフェアに）行く約束をしていました。

朝からの雨風でも私は行く気満々だったのですが、家内が美容室の予約を入れており、そこにそご齟齬があって、結局行かなかったのです。

（となみチューリップフェアの開催期間は）この週末が最後だと思っておりますので、行ければ良いなと思っております。

(※となみチューリップフェアは、5月5日で終了していました。)

記者

その他はお仕事などをされていたのでしょうか。

市長

部屋や車庫、事務所の片付けなどを一日かけてやりました。

今年に入ってから全く整理できていなかったものですから。

※発言内容を一部整理して掲載しています。・・・富山市広報課